

インマヌエル中目黒キリスト教会 2014年1月19日聖日礼拝

教会総会に向けて
「恵みを待ち望む～総会の心備え」

使徒の働き 1章15 – 2章2節

河村従彦牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 1章15 – 2章2節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp208~/ 第三版の聖書はp228~

- 15 そのころ、百二十名ほどの兄弟たちが集まっていたが、ペテロはその中に立ってこう言った。
- 16 「兄弟たち。イエスを捕らえた者どもの手引きをしたユダについて、聖霊がダビデの口を通して預言された聖書のことばは、成就しなければならなかったのです。
- 17 ユダは私たちの仲間として数えられており、この務めを受けていました。

- 18 (ところがこの男は、不正なことをして得た報酬で地所を手に入れたが、まさかさまに落ち、からだは真っ二つに裂け、はらわたが全部飛び出してしまった。
- 19 このことが、エルサレムの住民全部に知れて、その地所は彼らの国語でアケルダマ、すなわち『血の地所』と呼ばれるようになった。)

- 20 実は詩篇には、こう書いてあるのです。
『彼の住まいは荒れ果てよ、そこには
住む者がいなくなれ。』また、『その職
は、ほかの人にとらせよ。』
- 21 ですから、主イエスが私たちといっしょ
に生活された間、

- 22 すなわち、ヨハネのバプテスマから始まって、私たちが離れて天に上げられた日までの間、いつも私たちと行動をともにした者の中から、だれかひとりが、私たちとともにイエスの復活の証人とならなければなりません。」
- 23 そこで、彼らは、バルサバと呼ばれ別名をユストというヨセフと、マツテヤとのふたりを立てた。
- 24 そして、こう祈った。「すべての人の心を知っておられる主よ。

- 25 この務めと使徒職の地位を継がせるために、このふたりのうちのどちらをお選びになるか、お示してください。ユダは自分のところへ行くために脱落して行きましたから。」
- 26 そしてふたりのためにくじを引くと、くじはマツテヤに当たったので、彼は十一人の使徒たちに加えられた。

1 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。

2 すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。

説教

教会総会に向けて

「恵みを待ち望む～総会の心備え」

使徒の働き 1章15 – 2章2節

河村従彦 牧師



はじめに

A 総会を前に

B ユダの後任を選出したプロセス

- 1 ペテロの発言 15～22節
- 2 使徒職補充の手続き 23～26節

I ペテロの発言

A 内容

- 1 ユダの事件は聖書の預言の成就
- 2 使徒職に加わるための基準
 - (1) 主と行動をとともにした人物
 - (2) 主の十字架と復活の目撃者

B ペテロの生涯 ~仲間を踏み台にして

- 1 口先だけの生き方
- 2 極端な発想の生き方

C ペテロの発言の意味

- 1 仲間の一人が先生を裏切った出来事
- 2 ペテロ自身の生き方を映し出すもの

D ユダが語りかけて来るもの

E ペテロにとっての恵みのチャンス

- 1 勇気ある発言 ~主の赦しといやし
- 2 主が問題にされること

しかし.....やや違和感が残る！？

II 使徒職補充の手続き

A この出来事の雰囲気と違和感

B ルカ文書の事情

1 文脈

2 25節「使徒職」

3 記者であるルカの意図

C マツテヤ補充の意味

- 1 自分の過ちや傷を自分で覆いたい
- 2 不安定なままではいたくない
- 3 ユダヤ的発想 ～完全を目指す
- 4 成熟 ～「欠け」の受けとめ
- 5 恵みを受ける信仰のあり方

しめくくり

総会に臨む前に...

恵みの回顧

欠けを受けとめる成熟